

第3回 第3次東員町行財政検討委員会会議録

1. 開催場所	東員町役場西庁舎201・202会議室
2. 開催日時	平成23年11月29日(火) 午後1時00分 開会 午後3時30分 閉会
3. 出席委員 (敬称略) 出席幹部	酒谷宜幸 阿久根チサエ 川杉美津江 馬場順子 三浦信一 毛利次郎 藤田昌義 伊藤郁子 伊藤英也 中村宗和 (欠席: 岩崎恭典 種村拓夫) 総務部長 総務課長 町政戦略室長 政策情報課長 長寿福祉課長及び課長補佐、健康福祉課長及び係長
4. 内 容	<p>1. 副委員長挨拶 (委員長欠席のため)</p> <p>2. 第2回東員町行財政検討委員会の会議録について 副委員長から事前に委員へ送付された、第2回の会議録についての内容確認及び今回の会議の協議事項についての確認。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 補助団体の事業内容について</p> <p>・東員町シルバー人材センター シルバー人材センター理事長及び事務局長から事業内容についての説明。</p> <p>副委員長: 手順書について、契約に関するルールのようなものはありますか。</p> <p>シルバー(事務局長): 手順書にはありませんが、全て事務局において行っております。</p> <p>委員: 組織の中に苦情処理をする部署はありますか。</p> <p>シルバー(事務局長): 大きい組織ではございませんので、そのような部署はございませんが、事務局長と担当職員とで対応しております。最近、剪定と草取りについてアンケートを実施しております。</p> <p>副委員長: アンケートを剪定と草取りに絞っているのはどういった趣旨ですか。</p> <p>シルバー(事務局長): 苦情は企業からは少なく一般家庭から多いため、一般家庭を主体としております。</p>

	<p>副委員長： 契約金額が年々減少してきているので、あらゆる意見を取り込み、対応すべきことは何かないか模索していく必要があると思います。今後の事業計画の中で、どのような業務改善を考えているかお話しいただけますか。</p> <p>シルバー（理事長）： 国の事業仕分けにより平成21年度より国庫補助金は三分の一に減額されているが、この補助金については高齢法40条で、国と地方公共団体はシルバー人材センターを育成するよう定められている。事務局は、会員を送り込むだけでなく、適正就業というルールを守ることはコンプライアンスになることである。また、高齢法の一部改正により定年制が段階的に65歳まで引き上げられることに合わせ、昔のように生き甲斐や健康のためだけではなく、生活費の20%を稼働所得に頼らなければならないという面があり、仕事がなければ入らないという現象につながり、会員数減少の一因となっている。また、事務職員数はぎりぎりで行っているため、職員減は無理である。そこで、平成24年5月に理事が任期を迎えるので、これを契機とし、理事会の機能活性化のため部会設置を考えています。会員のロコミによる会員の入会促進や会員でもできる事務局の仕事に移行し、改善に努めたい。</p> <p>委員： 全国のシルバー人材センターの契約金額及び会員数の平均と比較すると、東員町のシルバー人材センターは激減しているが原因を把握しているか。</p> <p>シルバー（事務局長）： リーマンショック以来、当センターが派遣に切替えようと思っていたが、民間企業の利用がキャンセルされ契約金額の低下になっており、それに代わるものを模索しています。</p> <p>委員： 民間の中の個人と法人の内訳はどうなっていますか。</p> <p>シルバー（事務局長）： 後日という事でよろしいでしょうか。【※P5にて回答】</p> <p>委員： シルバー人材センターの契約金額が減少してきているのに、事業評価シートの達成度が4となっているのはなぜですか。</p> <p>担当課： 契約件数や会員数が減ってきているというのは事実ではありますが、本来の趣旨等を勘案しますと概ね達成していると判断いたしました。</p> <p>委員： 必要性や有効性は認めますが、町から要望もなく</p>
--	---

	<p>管理が甘いのではないですか。</p> <p>担当課 : 補助金につきましては、毎年補助申請をいただき中身を見させていただいて、実績報告という形を取らせていただいております。補助金の実績の中に町が助成した補助金が何に使われているかチェックをさせていただいております。</p> <p>委員 : もう少し厳しい目で見させていただきたい。またシルバー人材センターさんも対応策をもっと考えていただきたい。</p> <p>副委員長 : 補助金の目的は人件費を賄うということですが、他の部分はあまり見ていないということですか。</p> <p>担当課 : 補助させていただいている内容についても、聞き取りという形で見させていただいております。</p> <p>副委員長 : 事務局長から見て、人件費はほとんど国と町の補助金で賄っていますが、金額が近似値なのは偶然なのでしょうか。</p> <p>シルバー(事務局長) : 人件費の不足分を自主財源で賄っております。</p> <p>副委員長 : 補助金を少しでも減らせるように、自主財源で賄えないかという話は出ていないのでしょうか。</p> <p>シルバー(事務局長) : 今正直申し上げてそういう風に考えてはおりません。</p> <p>副委員長 : 車両の活用について、一部でも使用料という形で負担をお願いは出来ないのでしょうか。</p> <p>シルバー(事務局長) : 車両や燃料は会員持ちとなっており、車両は事務局用となっています。</p> <p>委員 : 仕事の減り方を見ると年齢による仕事の質の問題があると思います。会員の平均年齢は確実に上がっていくと思いますが、会員の質と仕事の取り方についての分析や考え方はいかがでしょうか。</p> <p>シルバー(理事長) : 会員の平均年齢は69歳を少し超えています。視野が狭くなったり、耳が遠くなってきたり、問題は起きてくると思います。公用車に限りますが、運転は75歳を限度としています。仕事の質についても、個人差はありますが、ある一定のものは考えていけないといけないとは思っております。ごみ収集車の運転手の年齢を抑えるよう言われていますが、会員の希望や適材適所を加味しながら考えていく必要はあると思っています。</p> <p>副委員長 : 極端な言い方をしますが、人材センターの存在価値がなくなっているという見方も出来るのではないのでしょうか。</p>
--	---

	<p>シルバー(理事長)： シルバー人材センターがなくなったときに、高齢者の受皿をどうするかという問題があります。医療費や介護保険の問題は、働いている人は働いていない人より統計的には年間6万円安いです。</p> <p>委員： シルバー人材センターの運営に不満を持って辞めた人がいるのですが、アンケート結果に出てこないのを見ると、アンケートの問い方に疑問を感じます。就業規則等文書で規律を守るための表記についてはもう少しはっきりした方が良いと思います。</p> <p>副委員長： 四日市市と比較する必要はないかもしれませんが、似たような規模の町での取組をベンチマーキングしながら先に進むために何が必要なのか、周りから言われたからではなく、法人側としてどんどん取り組んでいただいて、我々から何も言えない状態であるのがベストであると思います。</p> <p>委員： 管理費という考え方が団体によって範囲が異なるように思います。各統計資料に格差があるので、確認をして欲しいと思います。また、町も補助金を出す前に色々な事を頭に入れてしっかりやってもらいたい。資料についても、大きな変化のあった事については、記載してもらえると理解が深まると思います。</p> <p>副委員長： 事業費の区分について、補助金の計算の中で影響はあるのでしょうか。</p> <p>シルバー(事務局長)： 事務局に確認し、後日とさせていただきます。</p> <p>委員： 苦情はあまりないとその事でしたが、諸謝金とは何でしょうか。</p> <p>シルバー(事務局長)： 苦情対応ではなく、補助をいただく方に一人回した女性職員の人件費です。</p> <p>委員： 3時間で終わる公園の草取りを、話をしながら6時間掛けてやっているという声を聞きました。</p> <p>副委員長： 周りからの見た目を考えると、6時間のところを3時間で終わるという見積と実際とのかい離も問題でしょうし、しっかり見積もしていただき、適正な形でシルバー人材センターの看板を背負っている間はしっかり業務をしていただき、業務が終われば速やかに帰るか看板を下ろしていただくというメリハリを付けていただきたいと思いますので、検証をお願いします。</p> <p>委員： 事務局が考えている以上に実際の評判が低いのは、仕事の質等をチェックしていく必要があると思</p>
--	--

	<p>います。内向きの努力ではなく外向きにPRしていくと良いと思います。町からの補助金にある程度依存しているという立場を考えて欲しいと思います。</p> <p>委員： 就業規則にリーダーを互選するとあります。リーダーがはっきりしないと仕事の段取りがつかず、チームがばらばらと仕事をしてしまいます。誤解を招く事にもなると思いますので、教育的な部分もお願いしたいと思います。</p> <p>委員： 仕事が早く終わった場合に契約金を返戻することはありますか。</p> <p>シルバー(事務局長)： そういった事はございません。先にご質問いただいていた今期契約の民間の内訳についてですが、企業が27%で個人が7%で、社会福祉協議会は民間に含めており、合わせると36%となります。公共事業は役場だけとなります。</p> <p style="text-align: center;">・ 東員町社会福祉協議会</p> <p style="text-align: center;">社会福祉協議会理事長及び事務局長から事業内容についての説明。</p> <p>副委員長： 社会福祉協議会での介護事業は民間が行っている介護事業とどういう違いがあるのでしょうか。</p> <p>社協(会長)： 介護事業としては同じでございます。</p> <p>副委員長： 社会福祉協議会の中ではどういう位置付けなのでしょう。</p> <p>社協(事務局長)： 介護事業を取り組み始めたのは制度が始まった平成12年度からですが、ふれあいセンターは平成6年に開設されており、当時は町からの受託事業という形で実施しておりました。平成12年以降は民間事業者の一つとして介護保険サービスに取り組むという事で始まりましたが、当初はまだ所謂民間の方が参入されてなくて、サービスの提供がままならないという状況がありました。今現在は、色々な事業所が増えてきまして、社協としての特徴を挙げさせていただきますと、ふれあいセンターのデイサービスの方には寝台用の特殊浴槽と車椅子で入れる特殊浴槽の2基があり、特殊浴槽のある施設はあまりないので、介護度の高い方への支援を特に集中し、4割の利用をいただいています。</p>
--	--

	<p>副委員長： ふれあいセンターは利用させてもらっているのですか。</p> <p>社協（事務局長）： 介護保険の収益で運営している施設です。ふれあいセンターは町の施設であり、協議の上、使用料に値するものを負担しております。</p> <p>副委員長： 単価が安く採算の取れない方も受けざるをえないと苦しいという話を聞きますので、そういう部分も視野に入れていただけると良いかと思えます。</p> <p>融資について、しっかり審査をしておけばというケースはありませんか。</p> <p>社協（会長）： 低所得者への調査というのはあまり厳しくも出来ないですが、最終的には県社協さんの決定となります。</p> <p>副委員長： 補助するお金ではないので、起きてしまった事への振り返りとそれに対する取組を積み重ねていって欲しいと思えます。</p> <p>委員： 通所介護とはどういう介護ですか。補助金、受託金、助成金はどういう使い分けをしているのですか。民間と社協での介護の比率はどのくらいですか。ふれあいセンターへの補助金は町とダブってやれるところが沢山あると思えますが、経費が無駄になっていませんか。</p> <p>社協（事務局長）： 1つ目の通所介護についてですが、デイサービスという言葉のとおりで日帰りでの介護施設利用のサービスをいいます。2つ目の言葉の違いですが、委託を受け実施している事業は受託金という分類となっております。補助金は受託事業ではなく補助を活用し社会福祉協議会が事業を実施させていただくという事です。助成金は、介護制度を利用して特殊浴槽の買い替えで国から受けた補助となります。</p> <p>副委員長： 3つ目の質問は、介護サービスの利用者数を足しても重なる人が出てくるので難しいと思えます。</p> <p>担当課長： 4つ目の質問ですが、平成15年9月に地方自治法の一部改正があり、指定管理者制度という法律の改正がありました。初回という事で指定管理者の選定委員会で検討した結果公募ではありませんでしたが、コミュニティセンターは笹尾連絡協議会、勤労者福祉施設は商工会、ふれあいセンターは社会福祉協議会を指定管理者とし、平成22年度から平成24年度の3年契約したという経緯がございます。</p>
--	--

<p>委員 : ふれあいセンターの経費を見ると人件費も高く、指定管理者制度としては高くないですか。</p> <p>担当課長 : 次回の更新の次期には競争となってくると思います。公募するときにはどういう基準で行うか等検証している段階です。</p> <p>委員 : 会費とありますが、誰が納めどういう意味なのか。普通会費と特別会費の違い、どのように会費を徴収しているか教えてください。</p> <p>社協(事務局長) : 会費につきましては、現状は自治会長・班長を経由して各世帯へお願いしています。会費は地域福祉事業へ活用させていただくということでお願いしております。特別会費につきましては、特別な意志で御協力頂ける方に1口1,000円としてお願いしているものです。一般寄付については、主に香典の寄付や福祉へ活用して欲しいと目的をもって寄附をいただくものでございます。</p> <p>副委員長 : まだ確認したい事項はあるかと思いますが、そろそろ時間となりますので、次回にもう一度1時間程度出席いただき質疑をさせて欲しいと思います。次回は12月20日(火)午前9時から御予定ください。社会福祉協議会については、もう一度進めたいと思います。シルバー人材センターの分につきましては、一度整理をして皆さんに確認をしていただきたいと思います。</p> <p>事務局 : 1回目の会議にお配りした資料にある補助事業の中で、議会事務局の政務調査費について、第2次行財政検討委員会の中で補助事業全てを示し、検討いただくという事で始まりましたが、政務調査費は条例で決められている事項で、行財政検討委員会で検討すべき事項ではないという事で割愛させていただいています。議員が自ら改革という事で、平成20年度から月額2万円を半額の月額1万円となり、その後も議員の定数を1名減となりました。皆様に報告を差し上げるために載せてありますが、検討いただく事項ではありませんので、よろしく願います。</p> <p>閉会 午後3時30分</p>	<p>以上</p>
---	-----------